

今週、月曜と火曜に行った「祖父母参観」には多くの皆様に来校いただき、子供たちの様子やコロナ禍における学校の体制をご覧いただいた。コンピュータを使った発表、外国人 ALT との英語の学習など、現在の小学校教育の変化に「たまげたなあ」と感想をお話しくださった方もいらした。

水曜日は「いじめ防止標語・ポスター審査会」を吉田地区交流センター・吉田中学校・本校の協働で実施し、会場の交流センターには審査員になってくださった区長さんや地域の皆さんが「子供たち、一生懸命に描いてるねえ。選ぶの迷うね。」と楽しそうに標語やポスターをながめておられた。コロナ禍で、交流センターと計画していた「地域学校協働活動」はストップしているが、地域なくして学校はないのだから、連携を継続し、次年度こそは計画していた事業が開催できれば…と期待している。

子供たちも児童会を中心に「長瀬たてわりンピック」なる「たてわり班対抗のミニ運動会」を企画し始めた。(10月27日(火)開催予定) 感染予防対策以外については、できるだけ子供たちの企画を尊重し、実施も6年生を中心に行わせるつもりである。

そして今日は「通信表の配付日」である。1年生は初めての「通信表」をどうみるだろうか？学習内容が大きく変化しているので、「通信表」そのものも検討し直して、評価項目なども改めてある。

各担任も頭を悩ませながら、時間をかけて、懸命に書き上げたものである。どうか、家族でじっくり話し合う機会にしていだきたい。